５月の園だより

学校法人志賀学園
認定こども園
平第一幼稚園
令和７年４月３０日

４月の入園・進級から約１ヶ月が経ちました。新入園児のお子さんも少しずつ園生活の流れが分かって見通しをもって過ごせるようになってきました。慣らし保育期間は、お仕事のご都合などつけていただきご協力ありがとうございました。

ばら組の子どもたちも少しずつ新しい環境にも慣れてきて、先生やお友だちの存在が気になり、自分の好きなことを見つけて遊びを楽しむ姿も多く見られるようになりました。

ばら１組ではリトミックスカーフを使ったリトミック遊びが大人気でいろんな色のスカーフを投げたり、くるくる回したりとリズムに合わせて楽しんでいました。ばら2組では、動物や恐竜の人形をブロックで作ったジャングルに配置してお友だちと場の共有を楽しんだり、恐竜の真似をして「がぉー！」となりきっている姿などが見られています。初めのうちは不安や緊張で涙を流していた子どもたちも少しずつ自分のペースで園生活に慣れてきています。連休明けからは、今まで頑張っていた子たちが涙したり、ようやく慣れてきた子どもたちもリズムが戻ってしまうかもしれません。平日お仕事がお休みな時には、お子様との時間を十分にとって心身の安定に繋げて頂きたいと思います。

５月３日は、「憲法記念日」、４日は「みどりの日」、５ 日は「こどもの日」と祝日が続きます。

どれも大切な祝日ですが、今回は「こどもの日」についてお伝えさせていただきます。

「こどもの日」は、元々は「端午の節句（別名：菖蒲の節句）」と呼ばれ、菖蒲の葉を勇壮な剣に見立て、病気や災いを避け、男の子の健やかな成長や幸せを祈ってお祝いをする日でした。1984年に5月5日は、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、お母さんに感謝する」お休みの日と決められてから「端午の節句」から「こどもの日」と定めら男女ともにお祝いする日とされました。

こどもの日にこいのぼりを飾るのは、「鯉」という魚は、流れの速い川でも元気に泳ぎ、滝ものぼってしまうほど、逞しい魚であるため、子どもたちが元気に大きくなることをお願いする意味も込められています。5色の吹き流しは、子どもの無事な成長を願って悪いものを追い払う意味が込められています。5月2日にこども園でそれぞれの学年で制作したこいのぼりを持ち帰りますので、是非お家で飾ってお子さんと一緒に行事についてふれてみてください。

「3歳児の5月の特性について」

砂場は、3 歳児がリラックスできる場所の1つです。手の平から砂を落としてサラサラ、砂を水で濡らしてペタペタなど、様々な感触を味わっています。また、シャベルやカップを使って砂を掘ったり、山のように積み上げたりして、形の変化を楽しみながら、道具を使うことを経験しています。

物に触れた時の感触や温度や音など、手の平から受ける感触から、五感を刺激されます。太陽や水と風と土、お友だちの声や動きと表情なども、心地よい刺激となり、手足を活発に動かして安定していきます。

ばら組の時期は、お友だちと同じことを傍でしながら関わらずに遊ぶことも見られます。また、平行遊びを繰り返しながら、次第に周囲の動きを真似たり、共鳴したりして、お友だちと一緒にいることが喜びになっていくようになります。3歳児ならではの遊びの動きが多く見られるこの時期です。こども園としても「あそび」の中で子どもたち自身が選択をして「あそび」を深めていけるように保育して参りたいと思います。

主幹保育教諭　坂本卓哉